

日本学術会議主催学術フォーラム「Future Earth の推進と学校教育」（仮題）
の開催について

1. 主 催：日本学術会議
2. 日 時：平成 29 年 9 月 3 日（日）
3. 場 所：日本学術会議講堂
4. 分科会の開催：開催予定

5. 開催趣旨：

Future Earth は持続可能な社会の実現に向けた研究活動等のプラットフォームとしての体制を築きつつあるが、そこでは科学と社会の協働による Co-design、Co-production の推進が強く求められている。なかでも科学と学校教育との協働の推進は、未来を担う若者の育成・成長に直結する喫緊の課題である。フューチャー・アースの推進に関する委員会持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会は、その課題にどう取り組んだらよいかを中学・高校生や大学生を含む広範な人々と共に議論するため、今年 1 月に公開ワークショップ「Future Earth と学校教育：Co-design/Co-production をどう実践するか」を実施し、5 月にはその第 2 回目を実施する予定である。本学術フォーラムはこの一連の取り組みの総まとめの場として開催するものである。分科会委員、学校の教員らから学校で取り組むべき地球環境問題の事例及び学校における地球環境問題への取り組みの実践例、成果、課題等について具体的な報告を受け、それらを基に、参加者全員で、Future Earth に関わる学校教育の課題、科学と学校教育とのつながりの強化及びそれと関連する問題の克服などについて考えたい。

6. 次 第：

総合司会：宮寺 晃夫（日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授）

13:00～13:10 開会挨拶、趣旨説明

氷見山幸夫（日本学術会議第三部会員、北海道教育大学名誉教授）

13:10～13:30 報告 1 海洋教育

日置 光久（日本学術会議特任連携会員、東京大学海洋教育促進研究センター
特任教授）

13:30～13:50 報告 2 持続性教育

武内 和彦（日本学術会議第二部会員、東京大学国際高等研究所サステイナビリティ学連携研究機構機構長・教授）

13:50～14:10 報告 3 温暖化教育

安成 哲三（日本学術会議連携会員、総合地球環境学研究所所長）

14:10～14:30 報告4 実践例

木村 浩明（逗子開成中学校・高等学校教諭）

14:30～14:50 報告5 実践例

小澤 栄美（東京都立科学技術高等学校教諭）（調整中）

14:50～15:00 （休憩）

15:00～15:20 報告6 実践例

井上 貴司（山陽女子中学校・高等学校教諭）

15:20～16:50 ディスカッション

（参加者と趣旨説明者及び講演者全員による質疑応答）

司会：山口 しのぶ（日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授）

16:50～17:00 閉会挨拶

花木 啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、東京大学大学院工学系研究科教授）（調整中）

（下線の登壇者は、提案分科会委員）